

マンモグラフィ検査

フラットパネルディテクタ搭載乳房X線診断装置

マンモグラフィ装置は乳房専用のX線撮影装置です。

乳房の中の様子をよく見えるようにするために乳房を薄く引き伸ばし、圧迫板という板でおさえて撮影します。

この際痛みを伴うことがありますが、乳がん診断に重要な乳腺構造や、しこり、石灰化（カルシウムの沈着）などを写すことができます。

マンモグラフィは乳がんの早期発見に最も有効な画像診断のひとつです。

当院の特徴

当院の装置では従来の2D撮影の他に3D撮影を行うことが可能なため、今まで乳腺と重なって発見されにくかった病変をより読影しやすくなることが可能となっています。

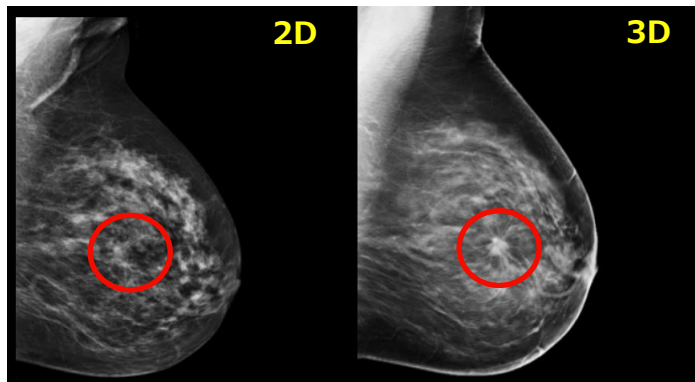
そのため、今まで「高濃度乳房」のため「異常なし」とされていたという方でもより見落としの少ない検査を行うことが可能となります。

さらに、従来の装置よりも検査時の痛みや不快感をできるだけないように設計された装置のため、実際に撮影された方々からは個人差はありますが、以前より痛みが少ないという声を多数いただいています。

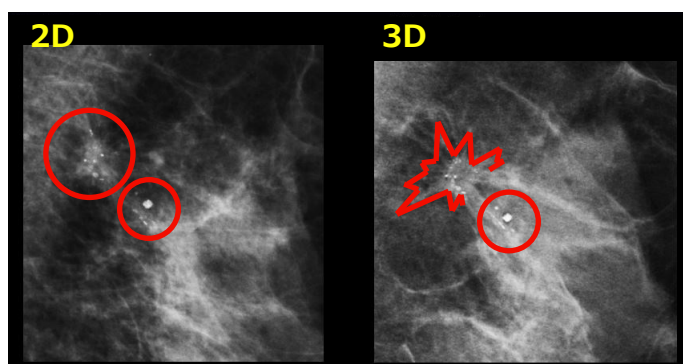
また、撮影は認定を持った女性技師が対応しています。※



画像提供：GEヘルスケア・ジャパン



乳腺に重なって見えなかった病変が見やすい



石灰化は見えるが、3Dの方が病変の辺縁までより見やすい

画像提供：GEヘルスケア・ジャパン

現在女性の部位別がん罹患率において1999年以来常に第1位となっている乳がん。

そのピークは40代後半～60代であり、さらなる早期発見・早期治療の重要性が高まっています。

しかし日本での乳がん検診の受診率はたったの36.4%です。当院では乳腺外来の他に青森市の乳がん検診クーポンを使用できる市検診や、クーポンが無くてもできる任意検診を随時受付していますので、いつでもご連絡ください。（→詳しくは[乳がん検診](#)のページへ）

※マンモグラフィ撮影認定技師

「MMGの撮影技術、精度管理について必要な知識と指導の技術がある」技師

検査を受ける際の禁忌例

詳しくはお問い合わせください。

- (1)ペースメーカーやICD(埋め込み型除細動器)、V-Pシャントチューブ、ポート(皮下埋め込み式、血管内に薬剤や輸液を注入するための受け入れ口となる部分)等の医療器具を装着している方
- (2)心臓周辺にステント挿入中の方
 - *心臓周辺以外の場合はお問い合わせください。
- (3)豊胸手術を受けた方
- (4)授乳中の方
- (5)断乳1年未満の方
- (6)肋骨骨折や肋骨にヒビの入っている方
- (7)妊娠している方、またはその可能性がある方
- (8)乳癌の手術の既往歴のある方・手術から10年未満の方の検診については主治医に相談することをお勧めします。